

2019年度

龍谷大学里山学研究中心一研究会

# 森林管理を考える —現場から、理念から—

森林管理の惨状が伝えられて久しくなりました。また、本年4月には森林経営管理法が施行され、森林管理にこれまでの施業管理を核とする枠組みとは大きく異なる新しい仕組みが付け加えられました。そのような森林管理の転換点に当たって、この研究会では森林管理の在り方について、現場における経験から学ぶとともに、原理的な再検討を行いたいと思います。

坂井氏は神奈川県の水源地環境保全・再生かながわ県民会議の委員を2016年まで務められました。神奈川県では水源地環境保全税を用いて6万ヘクタールにおよぶ「水源の森林エリア」の私有林の管理に県が積極的に関与する「水源の森林づくり事業」を20年以上にわたって進めてきていますが、ご報告では、そこでの森林管理の在り方や市民のかかわり方などについて、現場の状況を踏まえ、批判的に検討していただきます。

北尾氏は、『森林社会デザイン学序説』で知られ、森林を軸に現代社会を人と自然のあり方という根本的な視点から批判的に論じてこられました。森林管理や森林経営について、現状の問題を視野に入れつつも、概念の吟味を含めた基底的な捉え直しの議論を展開して頂けるものと期待しています。

日時： 2019年 **10月27日(日)**

**13:00~17:00**

場所： 龍谷大学深草学舎  
**紫英館(6号館)2階 東第2会議室**

講師： **坂井マスミ氏** (神奈川県水源地環境保全・  
再生かながわ県民会議第3~4期委員)

**「森林の所有と整備と利用はなぜ混迷するか」**

**北尾邦伸氏** (島根大学名誉教授)

**「森林管理問題の話——**

**『森林管理』『森林経営』なるものをとらえなおす」**

(参加無料・申込不要)



The Research Center for  
**Satoyama Studies**  
— 龍谷大学里山学研究中心 —

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

TEL: 075-645-2184

FAX: 075-645-2240

E-mail: satoyamagaku@ad.ryukoku.ac.jp